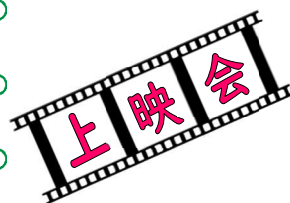




★ 諫早図書館は開館20周年を迎えました ★

みなさまとこれから



ドキュメンタリー映画

疎開した40万冊の図書

1944年、本土への空襲が迫る中、都立日比谷図書館長に就任した中田邦造は蔵書の一部を疎開することを検討。その際、民間人が蒐集している貴重な本も買い上げ疎開させた。人手もない中、館員と学徒たちは大八車を押し、あるいはリュックを背負って、何度も本を奥多摩や埼玉へ運んだ。地元の有志は土蔵を提供し、本を終戦まで守りぬいた——知と文化を戦火から守った人々を追うドキュメンタリー。【2013年 / 日本 / 102分】

- ▼ 日時 令和3年8月21日(土) 14時~
- ▼ 場所 諫早図書館 2階 視聴覚ホール
- ▼ 定員 30名 ※先着順(事前申込不要)

新型コロナウイルス感染防止のため、中止となる可能性があります
入場前の検温・マスクの着用・手指の消毒にご協力ください
窓や出入り口を開放するため、音や光が入ることがあります



本もあります

『疎開した40万冊の図書』 金高 謙二/著 幻戯書房

日本本土は1944年11月から終戦まで繰り返し空襲を受け、全国各地の図書館は大きな被害を受けました。都立日比谷図書館も1945年5月に焼夷弾により建物、蔵書全てを焼失しました。一方、国策による図書の疎開も進められ、ごく一部の貴重な資料は焼失を免れました。

本書では全国各地の図書館の様子や、疎開した図書が戦後どうなったのかが詳しく紹介されていますので、映画とあわせてお読みください。

知や文化の結晶である本、図書館が戦争で失われることのないよう、平和の大切さをあらためて伝えていきたいと思えます。

〈予告〉夏の朗読会

日時：令和3年8月22日(日) 14:00~
場所：諫早図書館 展示ホール
内容：「繋がる 生きる 平和」をテーマとした作品を朗読します。
フリーアナウンサーの高月晶子さんがゲスト出演予定です。
詳しい内容は決まり次第お知らせします。
※新型コロナウイルス感染防止のため、中止となる可能性があります

〈開催中〉原爆パネル展 20周年記念 タペストリー

原爆による被災状況について写真や絵等のパネルを展示しています。市内小学校4年生を中心として寄せられた平和へのメッセージも併せてご覧ください。
★ 展示ホールにて8月10日(火)まで(月曜休館)

ボランティア団体《絵布の会》にタペストリーを制作していただきました。青を基調とした美しいパッチワーク作品です。開架室から2階へ上がる階段に飾っていますので、どうぞご覧ください。



2021年7月の利用状況

	諫早図書館	どんぐり号
貸出者数(1日平均)	8,767人(365人)	961人(80人)
貸出点数(//)	36,223点(1,509点)	3,019点(252点)
来館者概数(//)	17,843人(743人)	—

《発行》 諫早市立諫早図書館

諫早市東小路町6-30
TEL 0957-23-4946

図書館全館の最新情報をチェック →→→



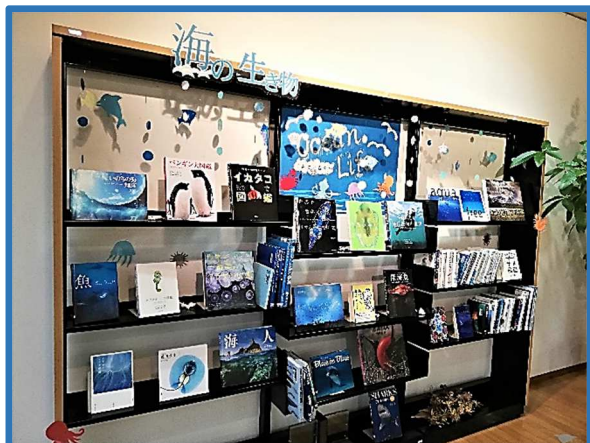
公式ホームページ



公式 Twitter

今月の館内展示

※展示期間 8月18日(水)まで



【一般書】 海の生き物



【地域】 原点回帰

【一般書】 『海の生き物 ~ Ocean Life ~』

夏本番です！夏と言えば海！なかなかお出かけもできない今日この頃、本で涼しい気分を味わってみてはいかがですか？美しい魚や珍しい生き物たちがお待ちしております。

【地域資料】 『原点回帰』

76年前、広島、長崎で被爆した方達が次々に亡くなられています。なぜ原爆は落とされたのか、そもそもなぜ戦争が始まったのか、原点に帰る必要がある時期に来ていると考え、それらの参考になる本、DVDを集めました。

【ビジネス】 『雑誌スポンサーになりませんか』

諫早市立図書館では雑誌スポンサー制度を導入しています。ビジネスコーナーではスポンサーの事業所を月替りでご紹介します。今月は『クロワッサン』と『週刊ダイヤモンド』を提供していただいている「たちばな信用金庫」にちなんで、『お金について学ぼう』と題し、お金に関する本などを展示しています。

【視聴覚資料】 『平和を思う』

夏を迎えると平和について考えることが多くなりませんか？ 視聴覚コーナーでは、戦争・平和に関するDVDや本を展示していますので、ぜひご覧ください。

《図書館員のオススメ!》

『大地の子』と私

山崎 豊子/著 文藝春秋

『大地の子』は、戦争で中国残留孤児となり養父母に育てられた主人公が、時代に翻弄されながらも前を向いて歩いていく物語で、TVドラマ化されたこともありご存じの方も多いと思います。

当時の中国の常識では最高指導者と外国の作家が会うことなど考えられない時代に、約8年間にわたり中国での取材を続けた著者の記録が綴られています。『大地の子』がどのようにして生まれたのか、知ることの出来る一冊です。(Y)

【新しく入った資料】

一般書

『地球を壊す暮らし方』 ウルリッヒ・ブランドほか/著 岩波書店

『宇宙人と出会う前に読む本—全宇宙で共通の教養を身につけよう』

高水 裕一/著 講談社

『今夜は家呑み —お疲れ、乾杯。』 ぐっち夫婦/著 KADOKAWA

『種から種へ命つながるお野菜の一生』 鈴木 純/文・写真 雷鳥社

『戦争×漫画(1970-2020)』 水木 しげる/著 小学館

『三国志で楽しく学ぶ中国語 初級編』 渡邊 義浩ほか/著 潮出版社

『遠(とおく)の巷説百物語』 京極 夏彦/著 KADOKAWA

『「あいだ」の思想』 高橋 源一郎/著 辻 信一/著 大月書店

『ヒロシマを暴いた男』 レスリー・M.M.ブルーム/著 集英社

地域資料

『今と昔の長崎に遊ぶ』 増崎 英明/編著 九州大学出版会

『長与専斎と内務省の衛生行政』 小島 和貴/著 慶応義塾大学出版会

DVD・CD

『ブルー・ジャーニー』 マルコ・レール/監督,製作,脚本 (DVD)

『サマーフィーリング』 ミカエル・アース/監督 (DVD)

『この世界の片隅に』 片渕 須直/監督,脚本 こうの 史代/原作 (DVD)

『新自分風土記 1 望郷篇』 さだ まさし/演奏 (CD)

【休館日カレンダー】

■ …休館

8月の土・日は19時まで延長開館

《8月》

《9月》

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	*	*	*	*

日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	*	*